



キャンパスニライ

第106号

放送大学 沖縄学習センター

TEL : 098 (895) 5952

FAX : 098 (895) 5953

〒903-0129 西原町字千原1番地

(琉球大学構内：地域国際学習センター棟4階・5階)

機関誌「キャンパスニライ」の名称の由来

沖縄では昔から、はるか海のかなたに神々の住む世界「ニライカナイ」が在るという伝説があり、そのニライカナイから、人々の住む島々にさまざまな豊穡と幸せがもたらされると、広く信じられています。この放送大学沖縄学習センターも、はるか宇宙のかなたから衛星放送により知識をもたらし、生涯学習の喜びを人々に与える存在でありたいという願いをこめ、本機関誌の名称としました。



放送大学沖縄学習センターは、琉球大学構内地域国際学習センター棟4階・5階にあります。

通常はBSテレビやインターネットで学習を進めていく通信制の大学ですが、学習センターで実施される面接授業（スクーリング）を受講したり、視聴学習室・図書室を利用したり、サークルや同好会に所属することで、学生同士の交流をしながら、学習を進めていくことができます。学習しやすい環境が整う学習センターを、是非ご利用ください。

CONTENTS

1. 卒業・修了おめでとうございます
2. 客員教員退任のご挨拶
3. 客員教員新任のご挨拶
4. 「学習センター」を活用しよう
5. 2023年度第1学期面接授業のご案内
6. パスワード変更について／学生証の交付について
7. 北部看護学校における大学入学説明会
8. 「第27回沖縄市生涯学習フェスティバル」に参加しました
9. 三線サークル・琉球舞踊同好会「第七回 唄・発表会」
10. 連載コーナー：尚 真貴子先生
「日本語の旅～留学生たちが教えてくれるもの～」
11. かっちゃん先生のゆんたくコーナー
12. 2023年度第1学期ゼミ開講のお知らせ
13. サークル・同好会のご紹介
14. スケジュール（4月～6月）
15. 視聴学習室・図書室からのお知らせ
16. 2023年度第1学期の単位認定試験は
Web（自宅等）での受験が基本となります

卒業・修了おめでとうございます

学部生 31名

【生活と福祉コース】 12名 【心理と教育コース】 16名
【社会と産業コース】 1名 【情報コース】 2名

大学院生（修士課程） 2名

【情報学プログラム】 1名 【臨床心理学プログラム】 1名



2022年度第2学期の「学位記授与式」が2023年3月25日に沖縄学習センター大講義室で14時から挙行されました。

式には10名が出席され、川本康博沖縄学習センター所長から、「卒業証書・学位記」と「記念品」が授与されました。その後、岩永雅也放送大学長から卒業に当たってのメッセージと川本所長、そして渡辺紘志同窓会会長からそれぞれ祝辞が述べられました。

沖縄学習センターでは、1988年度第2学期に初めての学部生3名が卒業して以来、2022年度第2学期までの卒業生は、今回の31名を含め、1,020名となり、25年目で初の1,000名の大台となりました。今学期は当センターとして4人目となる放送大学名誉学生（教養学部のすべての6コースを卒業）が1名誕生しました。

また、今学期の大学院（修士課程）修了生は2名で、2003年度に3名が修了して以来、これまでに41名の修了生が輩出されました。

これで、2022年度までの卒業生・修了生の総数は、1,061名となりました。



遠藤 光男 先生（客員教授）



今年度（2023年3月）を持ちまして、客員教員を退任させていただきます。2年間の短い間でしたが、センター所長の川本康博先生はじめ客員教員の皆様と職員の皆様には大変お世話になりました。そして、何より放送大学の学生の皆さんと触れ合える機会を持てたことは私にとって貴重な経験であり、皆様に大変感謝しております。年齢や職業などは一人ひとり異なっておりましたが、学問に向き合う真摯な姿勢を有している点では皆様共通しており、感銘を受けました。私自身が琉球大学を定年退職して客員教員に就任しましたので、今後の自分自身のあり方を考える上でも大きな刺激を受けました。

ゼミ活動では、「心理学の論文をじっくり読むこと」や「大学で必要になるスキルを学ぶこと」を行ってきました。いずれのゼミでも参加した学生の方々に資料を要約したレジメを作成してもらい、それをもとに発表とディスカッションを行いました。取り上げた内容の理解とともに参加した学生の方々が相互交流する機会になっていると幸いです。

皆様の今後益々のご発展を祈念いたしまして、退任のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

大湾 智子先生（客員准教授）



知は光、知は力

私は富永大介所長時代2018年4月に赴任し、川本康博所長時代2023年3月に5年間満期退職。両所長をはじめ川満好子事務長、仲本盛浩主幹、事務室や視聴学習室・図書室の職員の皆さまから沢山の御尽力パワーを頂きました。学生から激励を受けてアンガーマネジメント教育の面接授業を開講できたことにも感謝します。私の面接授業を社会人と一緒に受講された看護専門学校学生の大卒資格や看護学位取得者の皆様には今後の御活躍を期待したい。年齢差を感じない多職種学生といつでも、どこでも自由に学び、討論、意見交換ができるのが放送大学の魅力であると思います。

私は2019年7月発行のキャンパスニライ（第91号）で「尿失禁を予防する骨盤底筋訓練の普及」を提言しました。今後も使命感をもち骨盤底筋訓練、感染症対策、アンガーマネジメントの理論と実践が益々普及されるよう2023年度1学期と2学期に、面接授業を開講する予定です。

放送大学学歌に「知は光、知は力」とあります。今後お互いに学び成長しましょう。

客員教員 新任のご挨拶

井村 弘子先生（客員教授）

このたび、放送大学沖縄学習センターの客員教員に就任いたしました井村弘子と申します。

私は福岡県の出身で、九州大学を卒業し、九州大学大学院を修了した後、1985年から沖縄で暮らしています。沖縄に来てしばらくは子育て中心の生活でしたが、1993年から少年鑑別所の法務技官として、非行少年の鑑別業務や立直り支援に従事し、その後、2002年から心理学の教員として、沖縄大学、沖縄国際大学で勤務し、今に至ります。

心の回復・成長の過程を研究する「臨床心理学」が私の専門です。特に、家族支援を中心とした援助技法や、関係性の中で人々がどのように変化していくのかについて関心を向けています。また、私自身が公認心理師・臨床心理士ですので、支援を必要としている方々に心理的な援助実践を行っています。医療・矯正・教育・福祉の各領域での臨床経験を踏まえ、心の理解・援助に結びつく実践的な知識、最新の情報なども提供できれば、と考えています。

心の仕組みを学び、自分や周りの人々のことを心理学的な視点で眺めてみると、新たな気づきがたくさんあると思います。ご一緒に学びの扉を開いていきましょう。どうぞよろしく願いいたします。



國吉 緑先生（客員教授）

4月より、放送大学沖縄学習センターの客員教員に就任いたしました國吉 緑と申します。

去った3月に琉球大学医学部保健学科を定年退職し第三の人生を迎えましたが、人生100年と考えると、私はまだまだ若輩だと思っています。皆さんとともに学べることをハラハラドキドキしながら楽しみにしています。

私は、これまで看護教員として老年看護学の教育・研究に携わってきました。過去に、放送大学の面接授業を受け持ったことがあり、その時に「高齢者疑似体験」を行いました。夏の暑い日でしたが、高齢者グッズを装着し、いきなり後期高齢者と介護者になってもらいました。その時、受講生の年齢を考慮せずに体験を行ってしまったことを反省しましたが、年齢に関係なく、皆さん真面目に、そして楽しそうに参加されており体験を通して高齢者の身体的変化やその時の気持ち、介助する側の気づきなどを丁寧にレポートされていたことを懐かしく思い出されました。

人生の最終段階の老年期を皆さんとともに考えていけたらと思っています。どうぞよろしく願いいたします。





「学習センター」を活用しよう！



学習センターは、面接授業を行うほか、図書・雑誌の閲覧や、放送授業の視聴ができる設備があり、客員教員による学習相談や、各種証明書発行などを行う学習の拠点です。

学習センターには、センター所長と客員教員、事務職員がおり、学習上の各種相談に応じています。学生の皆さんが、学友や教員、センター職員とふれあうことのできる場でもあります。

沖縄学習センター所属の学生さんの中には、「自宅以外の学習スペースが欲しい」「気分を変えて学習にとりくみたい」ということで、視聴学習室・図書室、あるいは学生控室を利用されている方もいます。客員教員は曜日別で学習相談に応じています。

その他にも、ゼミやサークル、同好会に所属し、学生間で交流を楽しんでいる学生もいます。このように、様々な目的で、学習センターの施設利用をすることができます。

皆さんも、学習センターを活用しながら、大学生活を充実したものにしてください。

沖縄学習センター利用時間

【通常】火～日 9:30～17:45

【閉所日】月曜日・祝日・年末年始

※臨時閉所する場合があります。

沖縄学習センターのウェブサイトも要 check です。



沖縄学習センター

電話番号 098-895-5952



「沖縄学習センター」は、琉球大学構内地域国際学習センター棟4階・5階にあります。



【事務室】

- ・各種証明書、学生証、入構証の発行 学生相談 等



【視聴学習室・図書室】

- ・DVD、CD（教材）の視聴
- ・図書の閲覧



【学生控室】

- ・休憩、談話、飲食等ができ、学生の交流の場です。



【客員教員室】

- ・客員教員による学習相談ができます。



【講義室】

- ・面接授業やゼミが行われます。



毎年発行される「学生生活の葉」、
「沖縄学習センター利用の手引き」
や「ウェブサイト」も学生生活を送るうえで参考になります。併せてご確認ください。

その他、不明点があれば、いつでも気軽に職員へお尋ねください。

2023 年度第 1 学期面接授業のご案内

面接授業は、学習センター等で他の学生と一緒に直接講師から指導を受ける授業です。放送授業では経験できない実験等の講義や、地域に密着した講義もあり、他の学生と学ぶ楽しさを共有することができます。

2023年度第1学期の面接授業の空席状況が4月15日(土)12時に放送大学ウェブサイトのシステム WAKABA で発表されます。沖縄学習センター掲示板、沖縄学習センターウェブサイトでも発表します。空席のある科目のみ、追加登録の対象となります。空席数が少ない科目は抽選になる可能性が高いですので、受講を希望する方は追加登録受付初日の4月20日(木)に沖縄学習センター窓口へお越しください(午前9時45分集合)。郵送による申請も可能ですが、抽選の場合は窓口分と併せて行いますので、4月18日(火)までの到着分が対象となります。

当該学生の学生証をご持参の方であれば、代理人による登録も可能です。



2023年度第1学期の面接授業一覧

授業日	科目名	担当講師	定員	科目区分	登録受付期限日 (定員に達するまで申請可能な期限)
4月15日(土) 4月16日(日)	心理学実験2(k)	古川 卓	14	専門科目:心理と教育	追加登録は4月20日開始のため、左記科目は追加登録対象外です。
4月22日(土) 4月23日(日)	沖縄の民俗—信仰とくらし— 「からだ」の情報を取り出す技術	稲福 政斉 國田 樹	30 16	専門科目:人間と文化 専門科目:情報	
5月13日(土) 5月14日(日)	琉球史料論 健康科学入門	下郡 剛 高木 博	30 16	専門科目:人間と文化 専門科目:生活と福祉	5月6日(土)
5月20日(土) 5月21日(日)	心理検査法基礎実習 現代経済と環境 暮らしの中の統計	田中 寛二 藤田 陽子 高木 博	30 10 14	専門科目:心理と教育 専門科目:社会と産業 基盤科目	5月13日(土)
5月27日(土) 5月28日(日)	暮らしに役立つ楽しい数学 暮らしの中の栄養学 心理学実験1(k)	日熊 隆則 玉城 一 遠藤 光男	30 16 14	基盤科目 導入科目:生活と福祉 専門科目:心理と教育	5月20日(土)
6月3日(土) 6月4日(日)	行動経済学 心理学実験1(L)	堀 勝彦 遠藤 光男	30 14	導入科目:社会と産業 専門科目:心理と教育	5月27日(土)
6月10日(土) 6月11日(日)	排尿ケアの理論と実戦 暮らしの中のデータサイエンス	大湾 知子 岡崎 威生	30 14	専門科目:生活と福祉 導入科目:情報	6月3日(土)
6月17日(土) 6月18日(日)	フランス文学への招待 大人の食育 日本語の文章表現	野崎 欽 森山 克子 井口 直子 高橋 美奈子	16 10 16	専門科目:人間と文化 導入科目:生活と福祉 基盤科目	6月10日(土)
6月24日(土) 6月25日(日)	子どもから大人への精神保健学 臨床心理学へのいざない ※石垣市で開講	知名 孝 佐藤 仁美	30 20	導入科目:心理と教育 導入科目:心理と教育	6月17日(土)
7月1日(土) 7月2日(日)	食と農の地理学 心理学実験2(L)	小川 護 古川 卓	30 14	導入科目:人間と文化 専門科目:心理と教育	6月24日(土)

授業料・単位数について

面接授業は、1科目当たり1単位となります。授業料は1科目当たり、5,500円です。

全科履修生は、卒業要件として面接授業（又はオンライン授業を含む）の単位を20単位以上修得する必要があります。選科・科目履修生は必修ではありませんが、興味のある内容の面接授業を受講することができます。

講義時間について

面接授業は、1回90分授業を1日4回、連続する土日2日間（※第8回は、授業15:40～16:25その後、試験・レポート等を実施するのが標準です）で行い、1つの科目が終了します。

	1時限 (10:00～11:30)	2時限 (11:40～13:10)	3時限 (14:00～15:30)	4時限 (15:40～17:10)
土曜日	第1回	第2回	第3回	第4回
日曜日	第5回	第6回	第7回	第8回※

空席発表

4月15日（土）12時 ご希望の科目に空席があるかご確認ください。

沖縄学習センター掲示板に貼り出します。

放送大学ウェブサイトのシステム WAKABA から確認できます。



事前申請
(郵送のみ)

4月18日（火）必着（現金書留でお送りください）

郵送申請に必要なもの

郵送申請



※窓口受付不可

追加登録申請書

面接授業時間割表冊子の巻末

または放送大学沖縄学習センターウェブサイトよりダウンロード

授業料（5,500円）

学生証のコピー

84円切手を貼った返信用封筒

宛先：放送大学沖縄学習センター

※返金になった場合には、手数料を差し引いた額を返金いたします。

追加科目登録
受付期間
(窓口・郵送)

【抽選】 4月20日（木）希望者が定員を超えた科目

① 事前申請（郵送）受付分（18日までの到着分） + ② 4/20（木）当日受付分（9:45から10:00までの受付分）を対象に、10時に抽選を行い、受講者を決定します。

（場所：沖縄学習センター4階 事務室窓口）

※当該学生の学生証をご持参の方であれば、代理人による登録も可能です。

・当選された方は、そのまま授業料納付の手続きを窓口にて行ってください。

・郵送申請された方には、抽選の結果をセンター職員より連絡いたします。

来所申請に必要なもの ⇒ 追加登録申請書、授業料（5,500円/1科目あたり）、学生証

【先着順】 申込が定員に達していない科目の申請受付

抽選日以降、空席がある科目については引き続き、科目ごとの申込受付期限日（前ページの登録受付期限を参照）まで窓口・郵送にて受け付けします。

単位認定について

面接授業への出席状況（全講義出席を前提）を満たしたうえで学習状況（試験・レポートの成績等）が良好な場合に単位が与えられます。評価は、6段階（A、A、B、C、D、E）の標語で表し、A、A、B及びCが合格となり、1単位が認定されます。

パスワード変更について：必ず、初期パスワードを変更しましょう

入学当初に付与されたシステム WAKABA のログインパスワードは、不正利用を防ぐため、必ず初回ログイン時に変更しましょう。

一定期間経っても初期パスワードを変更していない場合、ロックアウトされ、システムにログインできなくなります。

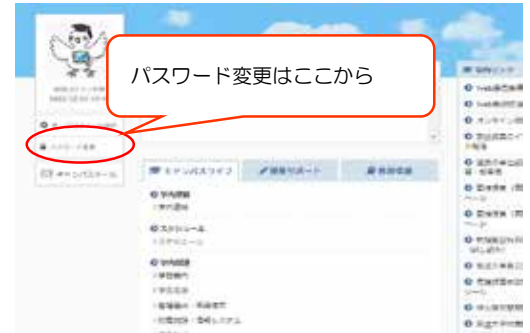
パスワード変更は、システム WAKABA の TOP 画面の左上プロフィール画面の下にある「パスワード変更」のリンクから行うことができます。

ログインできなくなった場合や、ご自身で変更後のパスワードを忘れてしまった場合は、下記にお問い合わせください。

○学生サポートセンター 電話：043-276-5111

○沖縄学習センター 電話：098-895-5952

○教務課 教務係 メール：kyomuka@ouj.ac.jp



学生証の交付について：学生本人が所属学習センターで交付を受けます

学生証は、システム WAKABA に顔写真が登録された後、所属学習センターで学生本人が交付を受けます。

顔写真が未登録の場合、学生証は発行できません。登録が未だの方は、システム WAKABA で登録するか、郵送での登録をし、学生証の交付を受けてください。

【顔写真登録方法】

正面向き、上半身、脱帽、6か月以内に撮影の、個人を識別できる写真を準備してください。

①システム WAKABA から登録する場合

システム WAKABA → 「教務情報」タブ → 「学生カルテ」
画面右側の「顔写真を設定」より、操作説明に従い登録してください。

写真のファイルサイズ：1 MB 以下
形式：jpeg、png、bmp

②郵送で登録する場合

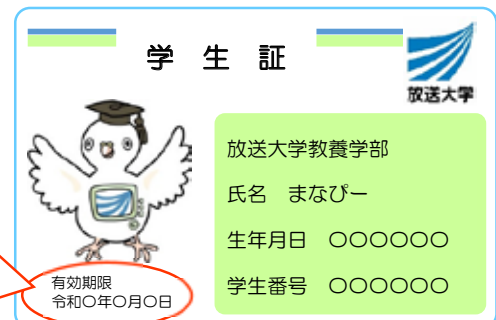
学生生活の栞の巻末様式 11 「写真表」を、一般書留または簡易書留で「大学本部学生課出願登録係」宛てに送付。登録までに2週間程度かかります。

住所：〒261-8586

千葉県千葉市美浜区若葉2-1-1

放送大学本部学生課出願登録係

- 写真登録が済んだら、所属学習センター窓口で、交付を受けてください(新入生は、入学許可書を持参してください)。
- 有効期限が切れた学生証をお持ちの学生は、古い学生証と交換で所属学習センターにて更新してください。



2022年12月4日（日）「第27回沖縄市生涯学習フェスティバル」に参加しました

コロナ禍で中止していた沖縄市教育委員会生涯学習課主催の「第27回沖縄市生涯学習フェスティバル（テーマ：踏み出そう 新たな一歩 つながる笑顔）」が再開され、放送大学沖縄学習センターも参加しました。会場は、沖縄市体育館で、大勢の来場者が思い思いのブースに立ち寄り、学びの体験をしていました。

このフェスティバルは、「あらゆる世代の方に生涯学習の場や情報を提供することにより、学習活動への参加を促し、一人ひとりの生涯学習意欲を高め、主体的に学ぶことの楽しさを実感し、交流を深めることによって、沖縄市生涯学習環境の総合的な振興、発展に寄与する」ことを目的に開催されています。

多種多様なブースがあり、お手玉作りや、茶道体験、バルーンアート作り、ロボットプログラミング体験、沖縄市消防本部から救急手当の体験など、各団体の特色ある「学び」を来場者へ伝えていました。

次回のフェスティバル開催には、是非皆さんも参加されてみてはどうでしょうか。放送大学での学びの他にも、色々な「学び」があることを知るきっかけになるとと思います。

オープニングセレモニーの様子
沖縄市立宮里中学校吹奏学部の
皆さんが演奏されていました。



放送大学のブースには、入学希望の方、初めて放送大学の名前を知った方や在学生も来場されました。そして募集要項やパンフレットを受け取り、「まなびはじめ応援動画」をしばらく視聴する方や、入学説明を希望される方など、大勢の方の来場がありました。



会場の様子です。親子連れの参加者が多く来場されていました。
救急救命の体験や、お手玉作り、バルーンアート作りのブースもありました。
各団体が工夫をこらした体験の場を提供していました。

北部看護学校における大学入学説明会

北部看護学校と放送大学は、2022年7月28日に連携協力に関する覚書を締結しました。連携方式としては、「ダブルスクール」と「3年次編入学」の2方式があります。

覚書締結の一環として、北部看護学校から説明会開催の依頼を受けて、沖縄学習センターでは、2022年11月24日、北部看護学校において、大学入学の説明会を開催しました。

説明会は、10時から1年次を、10時40分からは2年次を対象に行われました。川満事務長は、ダブルスクール方式と3年次編入学について、岸本広報担当は、大学卒業を目指す場合は、全科履修生として入学すること、授業形態として「放送授業」「面接授業」「オンライン授業」があること、卒業要件、学士（看護学）や、認定心理士の資格取得など、放送大学全般について説明しました。



説明会では、学生の皆さんが真剣な眼差しで説明を聞き入っており、看護の分野で働く目標を持ちながら、大学の学位も同時に取得するという志の高さが伺えました。

因みに、ダブルスクールとは専修学校に所属しながら、放送大学にも入学し放送大学の科目を専修学校との科目と併修することです。ダブルスクールのメリットとして、例えば、3年課程の専修学校入学と同時に、放送大学の全科履修生として入学した場合、専修学校を3年で卒業し、さらに放送大学に1年間在学することで、卒業に必要な4年間、124単位の卒業要件を満たすことで、教養学部学位（教養）を取得することが可能となります。すなわち、専修学校卒業と放送大学卒業の二つを手に入れることができる訳です。3年次編入学とは、例えば、北部看護学校を卒業したうえで、放送大学の3年次に編入学することで、卒業要件（放送大学に2年以上在学し、卒業に必要な62単位以上を修得）を満たすと放送大学を卒業することができます。

放送大学と締結している沖縄県内の看護学校は以下の4校があります。

- ・浦添看護学校（ダブルスクール型、編入学型）2017年6月締結
- ・那覇看護専門学校（ダブルスクール型、編入学型）2018年3月締結
- ・ぐしかわ看護専門学校（ダブルスクール型）2020年2月締結
- ・北部看護学校（ダブルスクール型、3年次編入学型）2022年7月締結

ダブルスクールで学びを続ける予定の皆さん、3年次編入学を検討されている皆さん、放送大学での学びが人生の良き糧となるよう、放送大学沖縄学習センターは皆さんの学びをお手伝いいたします。放送大学沖縄学習センターを是非ご利用・ご活用してください。



放送大学を知る！



皆さんは、放送大学ウェブサイトをご覧になったことはありますか。

全国の学習センターの様子や、放送大学が提供している授業科目やテレビ・ラジオの番組表、資格取得・キャリアアップ、教員紹介や、入学案内など様々な魅力について多くを知ることができます。

各学習センターが発行している機関誌も、ウェブサイトで閲覧することができます。

是非、全国各地にある学習センターの魅力をウェブサイトで触れてみてください。



放送大学



沖縄学習センター

三線サークル・琉球舞踊同好会「第七回 唄・発表会」

2022年12月21日（水）に、三線サークルと琉球舞踊同好会の皆さんが、「第七回 唄・発表会」を開き、日頃の成果を披露されました。



三線の音色に合わせ、鮮やかな衣装に身をまとい、琉球舞踊を踊りました。



司会進行も全てサークル仲間がしています。



* 寄稿募集 * 沖縄学習センター所属の学生の皆さまへ

機関誌「キャンパスニライ」に、皆さんの活動やご意見・先輩から後輩へのメッセージなどお寄せください。テーマは何でも構いません。日ごろの学びで気づいたことや、サークルや同好会の活動の様子など、学生の皆さまの「声」を機関誌を通じてお届けいたします。気軽に職員へお尋ねください。

《 寄稿方法 》

- ① 沖縄学習センターの窓口で、直接寄稿内容提出
- ② 沖縄学習センターメール宛に、寄稿内容提出：okinawa-h@ouj.ac.jp
- ③ お電話で問い合わせ：沖縄学習センター：098-895-5952



連載コーナー

客員教員：尚 真貴子
 学習相談日：毎週木曜日
 10:00～13:00
 専門分野：日本語教育



日本語の旅

～留学生たちが教えてくれるもの～

その① ブラジル編

今回の連載コーナーの流れとしましては、まず、「南米、そしてブラジルの日本語教育」を概観し、その後、ブラジルからの留学生 A さんに「日本語の旅」を語ってもらい、最後に「A さんからの質問」に筆者が答えます。

1. 「南米、そしてブラジルの日本語教育の概要」

国際交流基金が 2018 年度に実施した「海外日本語教育機関調査¹」によると、世界で日本語を学習している者は、3,851,774 人となっています。ブラジルは世界で第 14 位で、南米では最も多く、26,157 人(初等教育 2,666 人、中等教育 5,825 人、高等教育 1,499 人、学校教育以外 16,167 人)です。

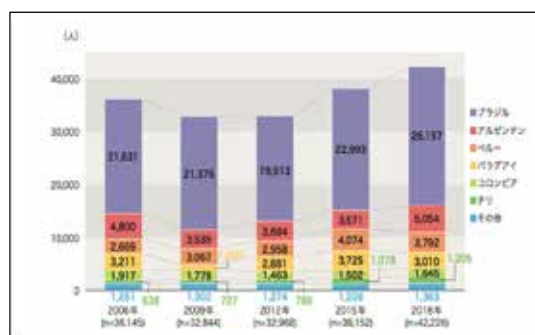


図 1：南米における学習者数²

海外の日本語学習の第 1 番目の目的は、「アニメ・マンガ・JPOP、ファッション等への興味」ですが、南米では、「母語または継承語」としての日本語学習の割合に特徴があります。因みに、ブラジルの日本語教育は、日本人移民子弟の継承語教育を源流としています。しかし、日本人移住が始まった 1908 年から 2023 年度現在 115 年が経ち、すでに 6 世も誕生し、世代交代が進むに連れ、「継承語」から「外国語」としての日本語学習へと変化しています。

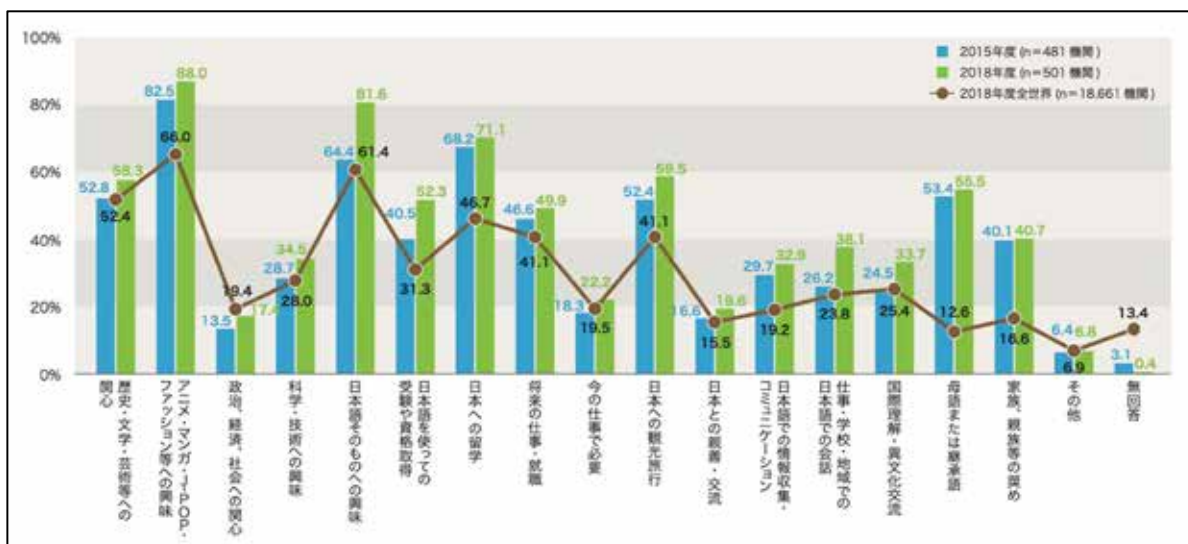


図 2：南米における日本語学習の目的³

2. 「日本語の旅」

○大学で学ぶ留学生 A さんに「日本語の旅」について語っていただきました（2023 年 2 月）。

私は、ブラジル南部のパラナ州にあるクリチバ市出身で、日系三世です。パラナ州はサンパウロ州に次いで日系人が多いところで、クリチバ市はサンパウロ市から車で 6 時間、飛行機では 1 時間の距離にあります。

私の家庭内の言語はポルトガル語だけでしたが、9 歳の時、「公文教室」で日本語を学ぶことになりました。教室には、母親に言われてしぶしぶでしたが、16 歳になるまで通い続けました。クリチバ市には日本語学校もありましたが、そこには行きませんでした。「公文教室」では、読み書きが中心で、話すことはほとんどしませんでした。16 歳を過ぎてからは日本語の勉強はあまりしませんでした。



しかし、16 歳（2011 年）の時、ウチナージュニアスタディー⁴に参加し、初めて沖縄を訪れました。その時になってやっと、日本語の勉強を自主的にやろうと思うようになり、また、自分のアイデンティティを見つめ直したいと思いました。そして、それから 12 年後の 28 歳の時（2022 年 9 月）、再び沖縄を訪れる機会を得ました。それは、ウチナーンチュ子弟等留学生事業⁵のプログラムで、半年間の短い滞在期間でした。その留学期間も、あと一ヶ月ほどで終了します。

この半年の間に、「日本語作文」「日本語会話・聴解」「日本語文法」「日本・沖縄事情」等のクラスで日本語学習に取り組んできました。ブラジルの大学では「建築」を学んだため、「漢字」の学習は絵を描いているようで面白かったのですが、表現・文法・作文はとても難しいです。敬語に関しては、ポルトガル語にも少しはあります。ポルトガル語では、ことば自体はあまり変わらずに態度で示すくらいですが、日本語の敬語は相手によって使い方が違い、興味深いです。沖縄では、ブラジルでの日本語学習とは違い、日本語で日本語が勉強できたので、短期間で大幅に日本語の力がついたように思います。また、さまざまな国からの留学生がいて異なる意見に触れることができるので、日本語でのディスカッションがとても楽しいです。この半年間、日本語を指導して下さった先生方のおかげで日本語が上手になり、世界中の友達と繋がることもでき、貴重な経験になりました。

日本語の学習に加えて、クリチバでエイサーを始めていたこともあり「琉球芸能文学研究会」にも参加することができました。一生懸命練習し、さまざまな演技を楽しく披露することができ、素晴らしい仲間にも出会いました。二度目の沖縄で、もう一つ良かったことは、自分自身のルーツを探し、親戚にも再会することができたことです。

これからのことですが、最初の沖縄滞在の際には「城（以下グスク）」に行けませんでした。今回はさまざまな「グスク」を訪れることができました。その経験から「グスク」に非常に興味を湧きました。ブラジルに戻ったら「クリチバ・グスク」を造るという卒業プロジェクトを考えています。その後は大学院生になり、さらに日本語を磨いて、「建築と日系移民」というテーマで研究を深めていきたいと考えています。

最後に「ブラジルの日本語」と「ポルトガル語から日本語になったことば」について、少し紹介します。普段はポルトガル語で生活しているブラジルの日系人が今でもよく使

う日本語には、「ちゃん」「ごはん」「おはし」「おちゃ」「てんぷら」「すし」「ふとん」「まくら」「お風呂」「寝巻き」「はだし」「たのもし」「持ち寄りパーティー」のような日本語があります。また、ポルトガル語由来の日本語もあります。例えば、「おんぶ」は、ポルトガル語で「肩」を意味する(ombro)が進化して生まれています。「カステラ」「金平糖」「天ぷら」「かっぱ」「カルタ」「ジュバン」「タバコ」「ブランコ」等、意識している日本人はあまりいないと思いますが、ポルトガル語から日本語になったことばもたくさんあります。

3. 「留学生からの質問」

A さんからの質問：自己紹介だけで「日本語がとても上手ですね」とよく言われますが、なんと答えたらいいのでしょうか。

回答：確かに、日本人は、外国人が少しでも日本語を話すと、「すごい！」と驚いたり、「上手ですね！」と褒めたりする傾向があります。それを言われた外国人の皆さんは、「はい、ありがとうございます。一生懸命勉強しましたから、上手になりました」と答える人が多いかもしれませんね。しかし、日本人の多くは、褒められた時には「いえいえ、それほどでもありません。まだまだですよ」とか「とんでもないです。まだまだですよ」とか、と答えるのが一般的ですね。日本語の「それほどでもありません」「とんでもないです」は、「謙遜」という側面に加えて、良好な人間関係を維持し、円滑なコミュニケーションを成立させるという側面もあります。



ストレートに自己表現をすることに価値があり相手の能力や性格などに対しても良いと思っただけで口に出して褒める文化と、日本のように口に出して褒めたり褒められたりすることが少なく、「謙遜」することや「謙虚」であることに価値を置く文化があります（と言っても、日本でも、最近は、若者を中心に正直にストレートに答えるケースも増えていますが）。



世界には想像以上にさまざまな文化がありますので、他の方法で反応する文化もあるかもしれませんね。大事なことは異文化を理解し尊重することだと思います。そして、素敵な人間関係が結んでいけるような表現を自分のものにしていってくださいね。

【注】

1～3. 海外の日本語教育の現状 2018年度 日本語教育機関調査より

<https://www.jpff.go.jp/j/project/japanese/survey/result/dl/survey2018/all.pdf>

4. ウチナージュニアスタディー事業 Uchina Junior Study

<https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/koryu/honka/juniorstudy.html>

5. 沖縄県海外留学生受入事業（ウチナーンチュ子弟等留学生）フォローアップ調査 結果報告書

https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/koryu/bankoku/documents/5ryugakusei_1124kaigai-bankoku.pdf

かっちゃん先生（森山克子先生）のゆんたくコーナー 食はクスイムン（薬になるもの）



前号（第105号）に続き、日本調理科学会で発表した沖縄県の家庭料理-行事食の特徴-を、ご紹介いたします。

1. ユッカヌヒーの料理

旧暦の5月4日は「ユッカヌヒー」。

いわゆる子どもの日で、チンピン（黒糖味のクレープをくるくる巻いたようなもの）を食べ、子どもの健康を祈願します。翌日の5日には、あまがし（押し麦、緑豆、黒砂糖の入ったぜんざいのようなもの）を供えます。



チンピン

2. 十六日・清明祭・旧盆の料理

祖先祭祀は、乾肴と餅を対にした料理を供え、盛大に行われます。

「十六日」は、あの世の正月のことで、旧暦1月16日に行われます。



重箱料理

「清明祭」は、清明の節（旧暦3月頃）に行われる祖先供養の墓前祭のことで、近年は、重箱料理のほかにオードブル・寿司・果物・菓子など各家庭の好みに合わせた食べ物が供えます。

「旧盆」は、旧暦7月13日～15日に行われます。祖先をウンケー（お迎え）する初日は、ウンケージュシーを供えます。



ウンケージュシー

このように、沖縄県では年中行事に合わせた料理を準備し、人々の健康や祖先への想いを馳せながら、家族と集う時間を大切にしています。

（写真提供：日本調理科学会沖縄県支部会員）



「かっちゃん先生のゆんたくコーナー」は、キャンパスニライ第103号（2022年7月発行）からスタートしています。

その他、「キャンパスニライ」には、客員教員の先生による「連載コーナー」や、「学生寄稿」を掲載しています。「視聴学習室・図書室からのお知らせ」では、書籍の紹介など、情報満載です。

ぜひ、キャンパスニライのバックナンバーもご覧ください

QRコードからバックナンバーへ今すぐGo! →



2023年度 第1学期 ゼミ開講のお知らせ

沖縄学習センター客員教員の先生方による無料のゼミを開講します。
様々な分野を学ぶ絶好のチャンスです。皆様のご参加をお待ちしております。

申込方法

お申込みはメールのみ受け付けます。お電話での受付は致しません。
ゼミに関するお知らせ等は全てメールで行います。
以下をご記入の上、(okinawa-zemi@ouj.ac.jp)までお申込みください。
①タイトル：〇〇先生のゼミ申込みについて
②氏名（フルネーム） ③学生番号 ④メールアドレス ⑤希望のゼミ名

受講料

無料

場所

沖縄学習センター

受付期間

各ゼミ開講の1週間前まで
※途中参加はできません

※沖縄学習センター所属の学生対象

森山 克子 先生 『人生100年時代の食育入門』

定員10人

火曜日 10:30~12:00 4月25日、5月9日・16日・23日 (全4回)



人生100年時代になり、若者は無論、今は多くの高齢者（80、90、100歳）が活躍し社会に貢献して居られる方もいます。ゼミでは、人を良くする＝食育を学びます。健康は口元のチェックから。子どもから高齢者まで、自ら食を選択し料理する能力を身に付けると子どもは成長し、高齢者は老化防止など脳の活性化をもたらします。今あなたが食べようとしている食事があなたの未来です。沖縄の家庭料理や3歳児クッキングからそのヒントを学びます。

山本 秀幸 先生 『アヘンや麻薬の歴史と神経科学』

定員7人

水曜日 10:30~12:00 5月10日・17日・24日・31日、6月7日 (全5回)

ゼミでは、1)人類とアヘンについての歴史を概観した後に、2)モルヒネやヘロインなどの麻薬が見出された経緯を勉強する予定です。さらに時間があれば、3)アヘンや麻薬の作用機構について神経科学的に考えてみたいと思います。教科書として、「歴史を変えた10の薬 トーマス・ハイガー著、久保美代子訳、すばる舎リンケージ」を使用します。該当する箇所のコピーを配布後に内容を簡単に説明し、その後討論しながら理解を深めていく予定です。



大城 賢 先生 『英語の基礎をはじめから』

定員12人

水曜日 15:30~17:00 5月17日・24日・31日、6月7日 (全4回)



英語の学習において、「基礎で躓いた」という人は多いようです。躓いた理由は、英語の文法は暗記する以外にないと思い込み、文法の核になる「からくり」や意味を十分に学習する機会がなかったからではないかと思えます。そこで、このゼミでは英文法の「からくり」を十分に理解するようにします。また、英語の「読解法」についても基礎から学習します。

尚 真貴子先生 『日本語学習者から学ぶ「間違いやすいことば」』

定員10人

木曜日 10:30~12:00 6月1日・8日・15日・22日・29日 (全5回)



「情けは人のためならず」とは、「人に親切にすれば、その相手のためになるだけでなく、やがてはよい報いとなって自分にもどってくる」（大辞泉より）ということです。しかし、日本語学習者は「親切にするとかえってその人をだめにする」と解釈します。つまり、この日本語の表現には日本独特の文化的な情報が隠されているのです。そこで、日本語学習者からの「間違いやすいことば」を学びながら、改めて日本語の表現について考えてみませんか。

古川 卓先生 『心理劇の体験学習』

定員10人

金曜日 14:30~16:00 6月2日・9日・16日・23日・30日 (全5回)



今からおおよそ100年前、ヤコブ=レヴィ=モレノという精神科医が演劇の実践を通してサイコドラマ（日本では心理劇）という心理療法を創始しました。心理劇は参加者が主人公で、脚本のない即興劇を通して自己理解を深める方法と言えます。ゼミでは受講者の皆さんと心理劇の基本的な技法を実習する予定です。その中から皆さんが自己理解のヒントを得られればいいなと思います。

高木 博先生 『脳を生き生きさせるゼミナール』

定員10人

日曜日 10:30~12:00 8月13日・20日、9月3日・10日・17日 (全5回)



脳の健康増進を目的として、様々な角度から脳について学ぶことをしていきます。参加者の皆さんには、ご自身で興味を持たれたことをプレゼンしていただきます。脳についてのテーマであることが理想的ですが、健康に関することであれば、脳でなくてももちろん大丈夫です。堅苦しくなく楽しい時間になりたいと考えております。

◇◇◇ 客員教員による学習相談 ◇◇◇

曜日	相談対応日時	担当教員	専門分野
火	10:00~13:00	森山 克子 (前琉球大学准教授)	給食管理、調理学、食育
	13:00~17:00	井村 弘子 (前沖縄国際大学教授)	臨床心理学
水	10:00~13:00	山本 秀幸 (沖縄リハビリテーション福祉学院長)	生化学、薬理学、神経化学、栄養生化学
	13:00~17:00	大城 賢 (琉球大学名誉教授)	英語教育学
木	10:00~13:00	尚 真貴子 (沖縄国際大学総合文化学部教授)	日本語教育
金	14:00~17:00	古川 卓 (琉球大学保健管理センター教授)	臨床心理学
土	10:00~14:00	國吉 緑 (琉球大学名誉教授)	老年看護学
日	10:00~14:00	高木 博 (琉球大学医学研究科准教授)	脳科学、理論生物物理学

サークル・同好会のご紹介



※※新型コロナウイルス感染対策をしながら活動しています。※※
※※見学をご希望の方は、各サークルへお問い合わせください。※※

サ
ー
ク
ル

同
好
会

Enjoy English



活動時間

毎週火曜日
14:00~16:00

場 所

サークル室

パソコンサークル



活動時間

毎週金曜日
13:00~15:30

場 所

実習室

三線サークル



活動時間

毎週水曜日
15:00~17:00

場 所

サークル室

中国語勉強会「你好倶楽部」



活動時間

第1~4土曜日
11:00~13:00

場 所

サークル室

煎茶サークル「和」



活動時間

第4火曜日
14:00~17:30

場 所

非常勤講師控室

英語クラブ「BRUSH UP」



活動時間

第1・3土曜日
14:00~16:00

場 所

サークル室

体操サークル



活動時間

毎週金曜日
10:30~12:00

場 所

サークル室

旅の会



活動時間

第1日曜日
13:00~16:00

場 所

サークル室

琉球舞踊同好会

活動時間

毎週水曜日
13:30~14:30

場 所

サークル室



ご興味のある方は
各サークルへ
気軽にお訪ねください



スケジュール（4月～6月）

○ 閉所日・臨時閉所日

□ 予定

スケジュールについては、沖縄学習センターWebサイト、沖縄学習センター利用の手引でも確認できます。



4月						
月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

- 4/1～5/31 集中科目履修生（司書教諭）募集要項配布
- 4/9 入学者の集い・入学者のオリエンテーション
- 4/15 12:00 第1学期面接授業科目空席発表
- 4/20 第1学期面接授業科目追加登録受付開始
- 4/29 昭和の日（閉所日）
- 4/30 臨時閉所日

- 5/2 臨時閉所日
- 5/3 憲法記念日
- 5/4 みどりの日
- 5/5 こどもの日
- 5/9～5/30 (Web) 通信指導受付
- 5/16～5/30 (郵送) 通信指導受付



5月						
月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

- 2023年度第2学期学生募集
第1回：6/10～8/31 第2回：9/1～9/12
- 2024年度大学院修士・博士課程募集
6/10 ～ 8/25
- 6/20 単位認定試験通知（受験票）
- 6/23 慰霊の日
- 6/28 2024年度卒業研究説明会（14:00～）

6月						
月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

視聴学習室・図書室からのお知らせ



視聴学習室・図書室のご利用について

利用時間	
火曜日～日曜日	9:30～17:45
※利用時間の変更についてはウェブサイトをご確認ください	
■閉所日：月曜日・国民の休日・年末年始はお休み	

- ※利用する際は、入室時に必ず「学生証」を提示してください。
- ※貴重品と学習に必要なもの以外は持ち込むことができません(；´Д｀)
カバン、手荷物等はコインロッカー(100円、使用后返金式)をご利用ください。
- ※携帯電話を持ち込む場合は、電源を切るかマナーモードに設定してください。
- ※室内での飲食は禁物です。学生控室をご利用ください。



図書の貸出について

図書の貸出は、大学本部(千葉)の附属図書館で一括して行っており、学習センターでの図書の貸出は行っていません。(館内閲覧のみ)
図書を借りたい時は、OPACをご利用ください。



OPACの利用について

OPACはインターネットを介して利用できる蔵書システムです。豊富な本部図書館の蔵書を自宅や学習センターへ取り寄せることもできます。
また、電子ジャーナル・電子ブックなども利用可能!



放送授業の視聴について

インターネット視聴端末PCを設置しています。ご自分のID(学生番号)とパスワードを入力するだけで、全ての放送授業が視聴できます。視聴用ヘッドホンも常備しております。希望される学生はスタッフへお声かけください。



メリット

インターネット環境が整っていない方の環境サポートとして利用可能!

自分の空いている時間に合わせて効率よく学習できる。

何度でも繰り返し学習することができる。

個別に仕切られているので、集中して学習できる。



パソコン利用について

PCを利用して放送大学ウェブサイトやシステムWAKABAから各種サービスをご利用いただけます。また学習に必要なものを検索した学習が可能です。



使用例

過去1年分の単位認定試験問題・解答が閲覧でき、ご自分のUSBに取り込める

自己学習サイトを活用した基礎学習ができる

WordやExcel等を使ってレポート作成ができる。

学習状況や学内メール等システムWAKABA全般機能を活用することができる。



Wi-Fi(無線LAN接続サービス)のご利用について

学習センターでは、無線LAN接続(Wi-Fi)が整備されております。これにより、個人でお持ちのパソコン、タブレット端末やスマートフォンが学習センター内で利用しやすくなっています。(同じID及びパスワードで全国の学習センターでも接続可能)

利用方法

- ① 放送大学HP⇒システムWAKABAログイン⇒放送大学自己学習サイト「情報研修(学生用)」を受講します。
 - ② 受講後の小テストに合格すると発行される「修了証」を図書スタッフへ提示します。
 - ③ 図書室より配付される「無線LAN利用申請書」を記入し、再度「終了証」と一緒にスタッフへ提出。
 - ④ 発行された「無線LAN利用許可書」に記載されているID・パスワードを入力してネット接続します。
- ※在学期間満了や卒業後に再入学した場合は、再度、利用方法の手順を行う必要があります。

センター内
Wi-Fi利用
可能エリアにて

Wi-Fiつめえす



雑誌のバックナンバー無料配布について

配架していた雑誌のバックナンバーを希望の方に無償でさしあげます。
引き取り希望の方は、先着順で自由にお持ち帰りください。
冊数に限りがありますので、無くなり次第終了とさせていただきます(予約・取り置きは不可)。

□対象雑誌：1年以上前に発行されたもの

□配布期間：2022年5月13日(土)～

■対象雑誌：東洋経済・ニュートン・サイエンス・プレジデント・栄養と料理・健康・暮らしの手帖など

お知らせ



新着
図書情報

多様なジャンル満載の新着図書が揃い踏み!
図書カウンター横に配架しています。お立ち寄り際にはぜひチェックしてみてください。

新感覚!?心理学と仏教瞑想による創発的対話

私たちはまだマインドフルネスに出会っていない

おすすめ



マインドフルネスの起源である仏教瞑想と知見を深めつつある心理学(^^)それぞれの視点から生きるとは何か、「私」とは何かを考える。人気アニメ鬼滅の刃を切り口にマインドフルネスの視点を読み解くなど、内容が多彩でとても面白い1冊!

ID×ライティング×統計学×アドラー心理学の相乗効果!

18歳からの大人の「大人の学び」基礎講座



学び方や教え方を学ぶ「インストラクトデザイン」、自己表現や主張のための「ライティング」、データを読んで駆使して考えるための「統計学」、働く・協力する等生きる意味を問う「アドラー心理学」。これらの4つの領域のスキルを活用し、大学や社会で自ら学んでいくための基礎的な資質・能力を身につけるテキスト!!

いつ起こるか分からない災害に備えて予備知識を学ぼう!

おうち避難のためのマンガ防災図鑑



“停電時の便利アイテム”“100均グッズで防災”“断水時のトイレ仕様”“感染予防と衛生対策”“日常備蓄を非常食に”“命を守る行動とは?”... 自宅避難する時代、コスパを意識したお財布にやさしい防災対策で万全に!

世界に誇る長寿の食文化。沖縄の食材・料理など

沖縄ぬちぐすい事典 沖縄から伝える健康と長寿



沖縄の言葉で「ぬち」は命、「くすい」とは薬の意味。医食同源の思想が古くから生活に根付いている沖縄の食文化を余すことなく紹介。沖縄の食材・料理など184項目を徹底解説した1冊!

統計学を始めたいそんな方におススメしたい入門書!

図解でわかる14歳からの水と環境問題



SDGsの大切な課題。人類から切り離せない「水」のすべて。「水戦争の未来」を避けるための、基本知識と最新情報。
1. いま地球の水が危ない
2. 人と水の歴史
3. 水危機の現実とその原因
4. 水問題解決のために何が出来る?

数学を学びたい!学生さん必見♪やさしく学べる数学!

どちらも分かりやすく、苦手な数学がわくわく楽しくなる!魔法のような1冊!

算数・数学わくわく道工具箱



川本所長
おすすめ



世界一ひらめく!
算数&数学の大図鑑

世界を旅する写真家が子どもたちと出会って考えた

僕らが学校に行く理由



写真家・渋谷敦志さんがこれまでにレンズを向けてきた世界各国の子どもたち。世界には、紛争や貧困などの理由から学校に通うことすらままならない子どもたちが数え切れないほど存在しています。しかし、そんな過酷な状況下であっても、子どもたちは学ぶことを諦めません。本書はさまざまなせきあの子もたちがひたむきに学び、生きる姿とそこに横たわる社会背景を写真と共に紹介。学ぶことの意味を読者とともに考えます。

認知症のある人の頭をのぞいてみたら?

話題沸騰

認知症世界の歩き方



これまでに出版された本やインターネットでみつかる情報は、どれも症状を医療従事者や介護社視点の難しい言葉で説明したものばかり。肝心の「ご本人」の視点から、その気持ちや困りごとがまとめられた情報がほとんど見つからないのです。この本は理解してもらえずに困っていた「認知症のある方が実際に見ている世界」をスケッチと旅行記の形式でまとめています。すごくわかりやすい!まるでご本人の頭の中を覗いているような感覚で、認知症のことを学べる1冊です。

生きるヒントから30年、五木寛之による令和の新シリーズ、創刊開始!

人生のレシピ 人生百年時代の歩き方



私たちは、誰もが百歳以上生きるかもしれない時代を生きていく。そうであるならば、人生を二回生きるイメージを大切に、それぞれ新しい生き方に切り替えてみてはどうだろうか。90歳になった作家が、いま一番に伝えたいことは何か。「私はむしろ、書くことよりも、対話することのほうが、表現者本来の姿ではないか」と思っています。「生き方の先輩」五木寛之が、長年出演を続ける「ラジオ深夜便」の語りを再現して送る、後半生を快活に過ごす極上の道案内。

「伊国屋じんぶん大賞2023」読者と選ぶ人文書ベスト18位に選定されました。

大好評

ジーファーの記憶 沖縄の簪と職人たち



ジーファーとは琉装の女性が頭に結び上げた髪に挿すかんざしのことです。多くは金属製で、クガニゼークと呼ばれる職人たちにより作られています。本書はジーファーの魅力に取りつかれた著者が、その歴史をひも解くノンフィクション。後半は琉球の技と心を伝える最後の生き証人「金細工またよし」7代目又吉健次郎氏が登場。そのライフストーリーや歴史はとても奥深い。

本国スウェーデン(人口1000万)で脅威の67万部超えΣ(・ω・ノ)!!

新版!一流の頭脳 運動脳



「スマホ脳」著者アンデシヨ・ハンセン最大のベストセラー。襲来、脳は成人後、衰えると言われていた。しかし、成人後も脳内の前頭葉が大きくなり、死の直前でも海馬の死亡数が増えた人達がいた、彼らに共通していたのは「有酸素運動」を日常的に行っていたこと。たった5分のウォーキング・ランニングが脳に作用する!学力・集中力・記憶力・創造性...脳のあるゆるチカラを伸ばす運動の秘訣を大公開!何歳でも5分から効果あり。

その他入荷本

- ♪50歳からの人生が変わる痛快!「学び」戦略
- ♪ミャンマー「民主化」を問い直す
- ♪歴史を変えた10の薬 ♪お母さんはここにいるよ
- ♪コンピューターで「脳」がつくれるか
- ♪世界遺産ガイド 日本編 2022 改訂版
- ♪NHK連続テレビ小説 ちむどんどんレシピブック
- ♪母と娘が伝える琉球料理と食文化
- ♪これからの時代を生き抜くための文化人類学入門
- ♪外資系社長が出会った不思議すぎる日本語
- ♪笑える日本語辞典 辞書ではわからないニッポン

2023 年度第 1 学期の

単位認定試験は

Web(自宅等)での受験が基本となります

- 受験に当たっては、放送大学ウェブサイトのシステム WAKABA を利用します。
- システム WAKABA にアクセスするには、ID (学生番号 10 桁ハイフンなし) とパスワードが必要となります。

自宅等
で受験

①事前体験

放送大学システム WAKABA から
「Web 単位認定試験体験版」で
事前体験する。

②自宅等で受験する場合の試験日程

7/15(土) 9:00 ~ 7/25(火) 17:00 まで

試験の方法

試験問題(7/15(土)9:00 から公開)は、
放送大学ウェブサイトのシステム WAKABA から
閲覧し、Web で解答する。
上記の「試験日程」の期間内であれば自分の都合のよい
時間帯に受験できる。
試験時間は 50 分。一時停止は不可。

- 「自宅等にインターネット環境がない方」「パソコン操作が困難な方」は、学習センターでの受験は可能ですが、そのためには大学本部への事前申請が必要です。
- センターでの受験であっても、受験する際はシステム WAKABA を利用します。

沖縄学習
センターで
受験

①センターでの受験対象

- ・自宅等にインターネット環境がない方
- ・パソコン操作が困難な方

②大学本部への事前申請が必要

申請期間:
2023年 4/1(土)~5/24(水)〈必着〉
※「申請書」は第 1 学期の印刷教材等に同封

③大学本部から学生へ

沖縄学習センター操作体験会日程が自宅等
に送付されるので、都合の良い日時を
沖縄学習センターに電話予約する。

操作体験会日程:
6/28(水), 29(木), 7/6(木), 7(金)
※開催時間は4日間とも 14:00~15:00

④センターで受験する場合は、日時が指定される

授業科目案内(2023 年度第 1 学期)の日程・時間帯で行う。
・大学院 7/15(土)~7/16(日) ・学部 7/18(火)~7/23(日)
試験時間50分。一時停止は不可。

試験の方法

- ・試験問題は、センターのパソコンを使用してシステム WAKABA から閲覧する。
- ・「択一式」の解答は、センターのパソコンを使用して Web で解答提出する。
- ・「記述式」の解答は、解答用紙を配付するので、それに手書きで解答提出する。